

根羽村『水循環・資源循環のみち2015』構想

平成27年度策定

根羽村は、長野県の最南端にあり愛知県・岐阜県に接しています。周囲は1,000mから1,400m級の山に囲まれた自然環境に恵まれた村で、三河湾に流入する一級河川矢作川の最上流に位置し、清流の水源地となっています。

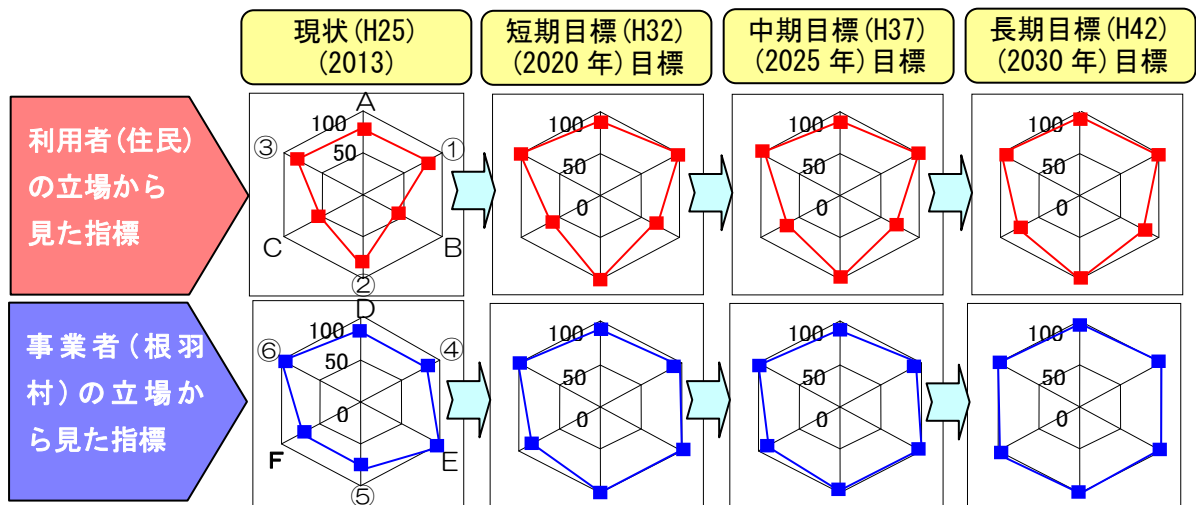
この自然環境や水環境を後世に残すため、平成8年から生活排水対策（小規模、農集排、浄化槽）を進めてきましたが、人口減少や高齢化の進展など社会情勢の変化への対応が求められています。

また、生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、今後とも適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。

このため、50年先を見据えた経営計画に基づき、処理場の統合、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、20年後までの生活排水対策の構想である「根羽村 水循環・資源循環のみち2010」を策定し、平成27年度に見直しを行いました。

根羽村の指標と目標

根羽村では、構想の目標年度である15年後までに向けて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者から見た指標として、県下の統一指標の他、当村の現状を把握した上で、オリジナル指標を設定し、短期、中期、長期の目標を以下のとおり設定しました。



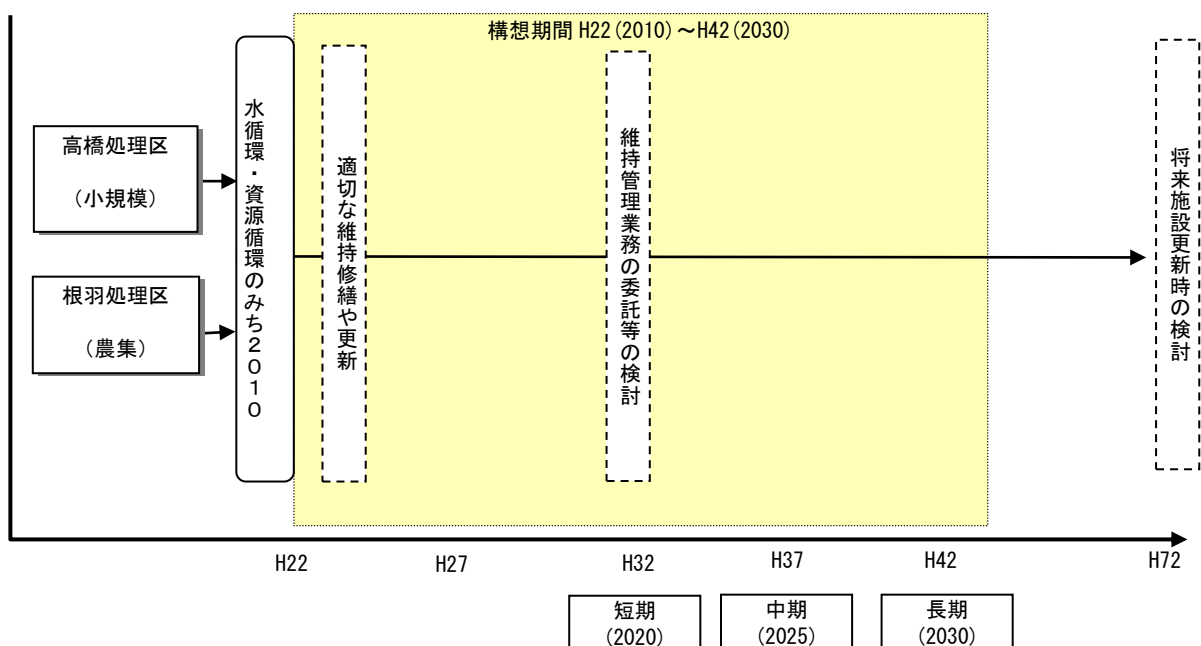
- 利用者（住民）の立場から見た指標
- (1) 暮らしの快適さを表す評価項目
 - A 快適生活率(%)：88.0→92.4→93.4→94.5 【県下統一指標】
※行政人口に対する下水道等接続人口の割合です。
 - ① 個別処理区域内の普及率(%)：90.1→100.0→100.0→100.0
※浄化槽設置率の向上を目指します。
 - (2) 環境への配慮を表す評価項目
 - B 環境改善指数：49.0→75.0→87.0→96.0 【県下統一指標】
※身近な河川等の水質環境の改善の達成度です。
 - ② 環境改善共感度率(%)：89.0→100.0→100.0→100.0
※身近な環境について具体的に共有できる取組を行います。
 - (3) 住民参画への取組を表す評価項目
 - C 情報公開実施指数：50.0→66.7→70.0→72.2 【県下統一指標】
※生活排水施設の仕組みや経営に関する情報公開の達成率です。
 - ③ 環境学習率(%)：88.0→100.0→100.0→100.0
※環境学習の機会の提供及び環境美化活動の実施を行います。

- 事業者（根羽村）の立場から見た指標
- (1) 整備事業の達成度を表す評価項目
- D 汚水処理人口普及率(%)：94.9→98.0→98.4→99.6 【県下統一指標】
※行政人口に対する汚水処理人口の割合です。
 - ④ 全村水洗化率(%)：88.0→95.0→97.5→100.0
※農集排水処理区域の未接続家庭及び合併処理区域の未設置家庭の水洗化を促進します。
- (2) 資源循環への貢献を表す評価項目
- E バイオガス利活用率(%)：100.0→100.0→100.0→100.0 【県下統一指標】
※北設広域事務組合とバイオガス利活用について検討します。
 - ⑤ 浄化槽法定検査受検率(%)：80.0→100.0→100.0→100.0
※浄化槽の法定検査受検を促進します。
- (3) 経営の長期的な状況を表す評価項目
- F 経営健全指数：77.0→93.0→95.0→100.0 【県下統一指標】
※維持管理費の節減等、適正な経営に努めます。
 - ⑥ 維持管理費回収率(%)：100.0→100.0→100.0→100.0
※下水道使用料調定額に対する収納額の割合です。

施設計画のタイムスケジュール

根羽村では、平成8年から農業集落排水事業を導入し、農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、生産性の高い農業と活力のある農村社会の形成に資するため生活排水雑排水は勿論、し尿も含めた合併処理による生活環境整備を進めてきました。今回、経営計画に基づき構想の具現化及び目標達成のため、短期、中期、長期及び超長期にわたっての施設計画等のタイムスケジュールを以下のとおりとしています。

当面、高橋処理区と根羽地区処理区の統合は考えずに、適切な維持修繕や更新等を含めた施設管理や維持管理等の広域化等を検討しながら、良好な水環境の維持、効率的かつ戦略的な経営の視点から実施可能な計画を図ります。



住民参画への取組

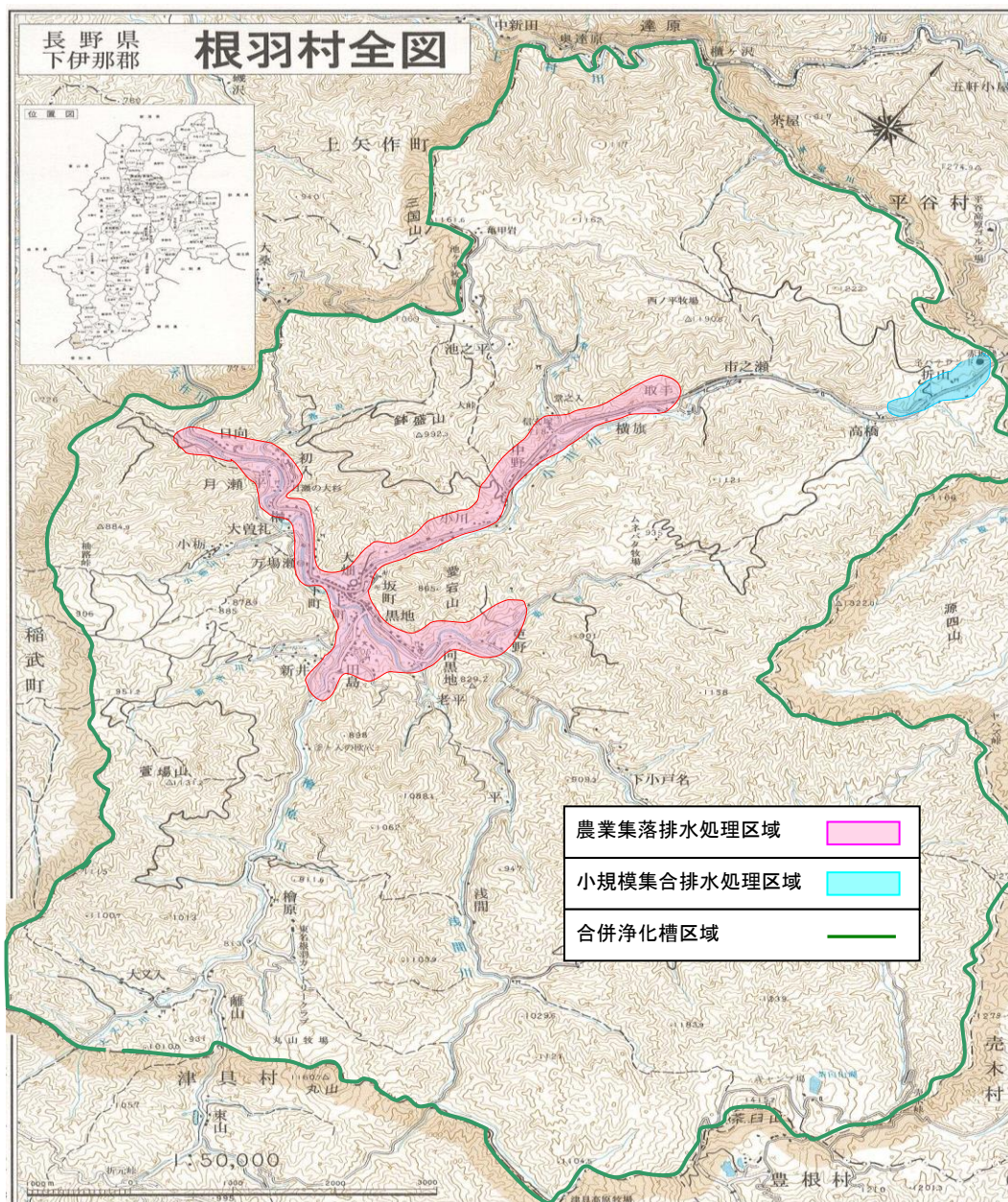
村の広報、CATV及びインターネット等使用し、利用者へ分かりやすい事業説明と経営状況の情報を公開してきました。今後も引き続き住民参画の推進を図ります。

根羽村『生活排水エリアマップ2015』

平成27年度策定

根羽村の生活排水施設整備は、平成8年から農業集落排水事業を導入し、エリアマップを基本とし、適宜状況の変化に対応した見直しを行い、整備が進んできました。生活排水エリアマップ2015では、持続可能な生活排水施設の観点から経営計画を長期にわたって検討した上で、施設配置や統合などを含め将来のマップを作成しました。

生活排水エリアマップ2015（概要）



■「生活排水エリアマップ2015」の概要

【短期】～【長期】

- ・農業集落排水事業エリア以外については、立地条件等の理由から処理区の見直し等を行わず、当面合併処理浄化槽整備事業で水洗化します。

- ・将来自然減による人口の減少が考えられます。
- ・農業集落排水事業エリア以外については当面合併処理浄化槽整備事業で水洗化の整備を実施します。

アクションプランへの取組

(1) 未普及地域への取組

- ・農業集落排水事業による施設整備は既に完了しています。
- ・農業集落排水事業エリア以外については、当面合併処理浄化槽整備事業で水洗化の整備を実施します。

(2) 浄化槽整備に関する取組

- ・農業集落排水事業エリア以外については、合併処理浄化槽整備事業にて水洗化を推進します。
- ・浄化槽の早期設置について戸別調査をし、また広報等を利用して呼び掛けます。
- ・農業集落排水事業エリアと住民の負担割合が同額になるように調整済みです。

生活排水施設の統合について

- ・生活排水施設の統合については、当村の立地条件から現状の処理区域が適切と考えられることから、当面現状のままとします。

地震対策への取組

- ・根羽村地域防災計画により対応します。
- ・農業集落排水事業業務維持計画（BCP）の策定を図ります。

根羽村『バイオマス利活用プラン2015』

平成27年度策定

根羽村の生活排水施設系から発生する汚泥（バイオマス）は、愛知県の設楽町、東栄町、豊根村の2町2村が広域化を推進し北設広域事務組合として処理をしています。

このため、「バイオマス利活用プラン2015」では、北設広域事務組合で集約化し、経費節減を図っていくとともに、周辺市町村と共同しバイオマスの利活用、地産地消を目指すこととしています。

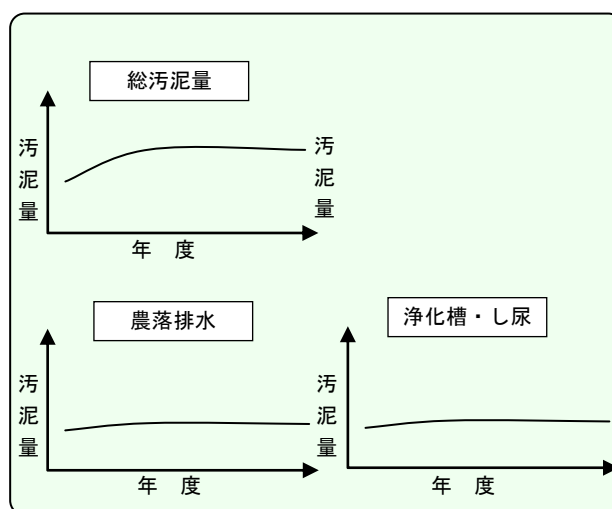
根羽村におけるバイオマス利活用プラン

- 最終処分は愛知県にある松戸クリーンセンターにて処理をし、そこから発生するし渣を焼却後、滝入最終処分場で処分し、汚泥は脱水・乾燥後、堆肥化しています。
- 処分費のコスト高と、現状での受入れがいつまで可能かが課題です。
- 当面現状のまま処理を行います。
- 農集排の汚泥をバキュームカーにてし尿処理施設松戸クリーンセンターに運搬し、脱水・乾燥後、堆肥化しています。
- 村内で発生する生ごみについて自己処理できない可燃ごみとしてパッカー車にて収集し、中田クリーンセンターにて処理しています。

「根羽村」バイオマス発生量予測

総汚泥量は農集排・合併処理浄化槽の接続により増加します。

農集排・合併処理浄化槽の汚泥は接続率の向上により増加後、横ばいとなります。



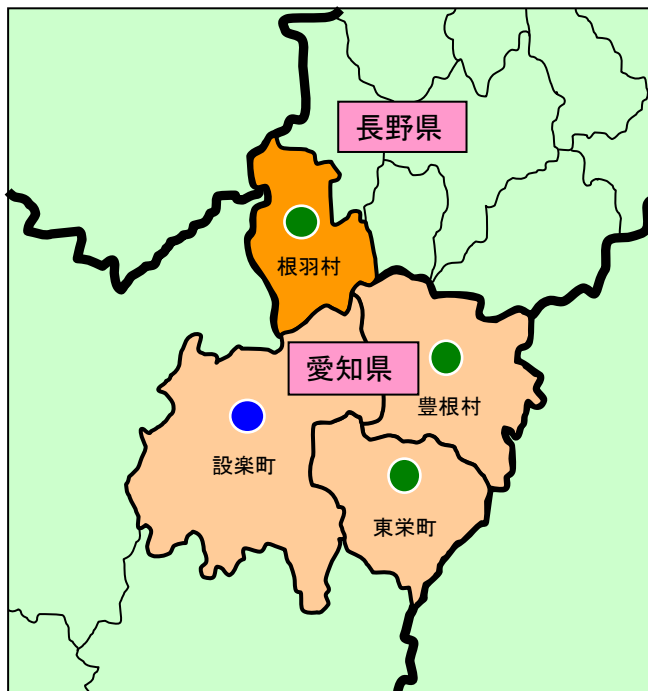
「根羽村」バイオマス利活用プラン

- 【短期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【中期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【長期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化

根羽村の広域的なバイオマス利活用プラン

「北設広域事務組合」バイオマス利活用プランマップ

北設広域事務組合



- バイオマスの広域的処理について
 - ・愛知県の設楽町、東栄町、豊根村、長野県の根羽村の2町2村
 - ・長期的に検討
- バイオマスの利活用について
 - ・資源、エネルギーとしての再利用
 - ・地球温暖化対策の推進

■北設広域事務組合のプラン

- 【短期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【中期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【長期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化

根羽村『経営プラン2015』

平成27年度策定

根羽村では、平成8年から農集排水事業を導入し供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入の他、一般会計からの繰入れにより賄われています。このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があり、50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の15年後までにできる改善計画を検討した上で、経営計画を策定し「経営プラン2015」を策定しました。

根羽村における生活排水の経営計画

■経営計画

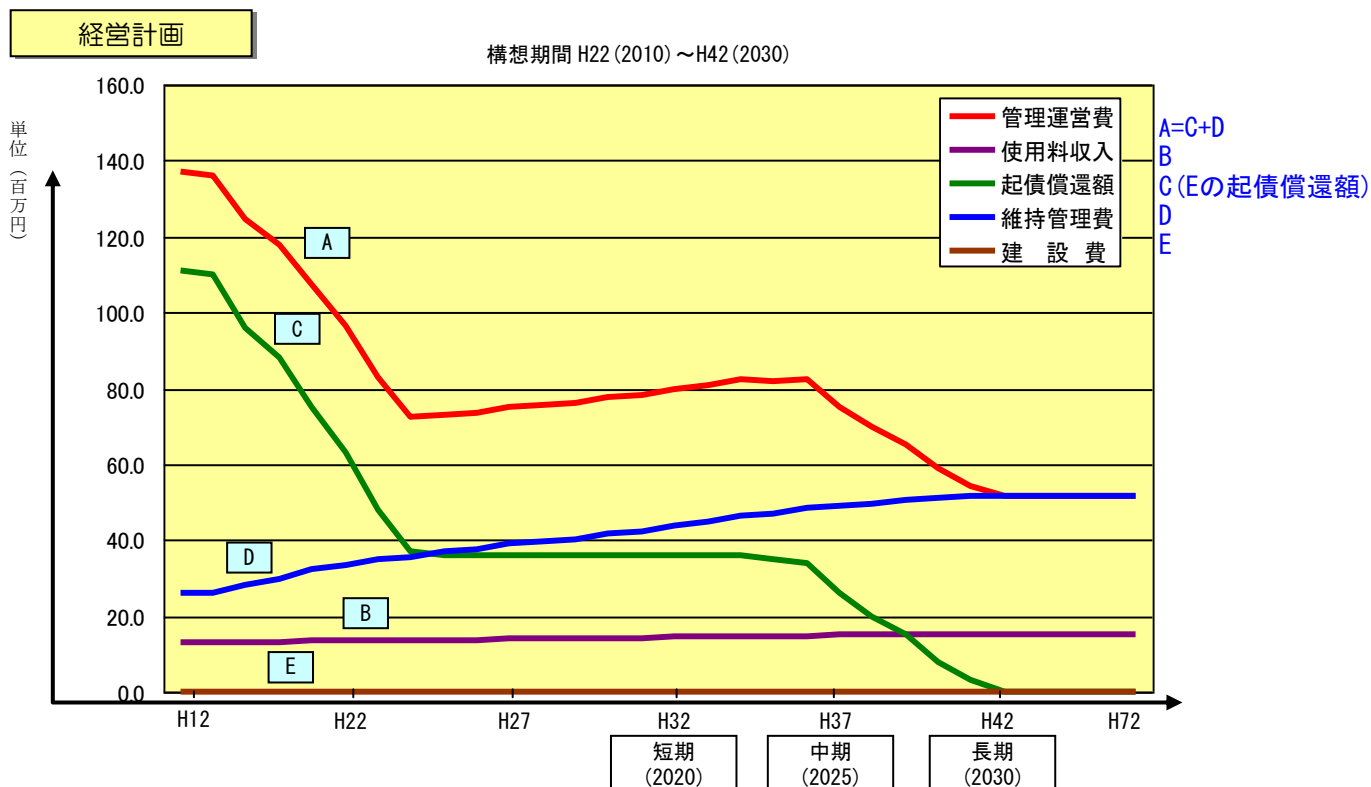
- ・農業集落排水事業
- ・使用料収入で維持管理費、一般管理費の一部を賄っている、起債元利償還金、一般管理費について一般会計繰入金にて賄っています。
- ・人口の自然減により使用料収入は減る見込みです。
- ・起債償還のピークは過ぎています。
- ・コスト縮減に努め使用料値上げを実施し、安定した経営にします。

■管理経営の方法

- ・現在の2箇所の処理場の維持管理委託を発注しています。
- ・広域的な維持管理業務の委託方法の検討と実施

■浄化槽管理の方法

- ・個人管理にて適正な維持管理をお願いしています。
- ・維持管理費は、根羽村合併処理浄化槽維持管理費補助金交付要綱により、条件等を満たしていれば補助をしています。

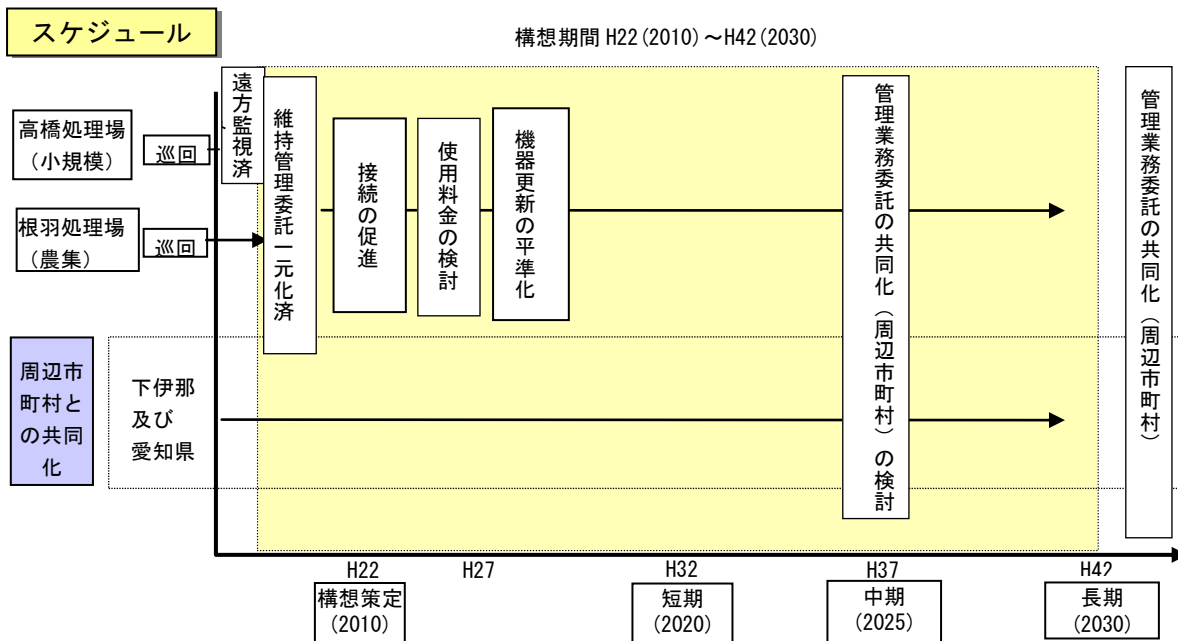


広域化による管理経営

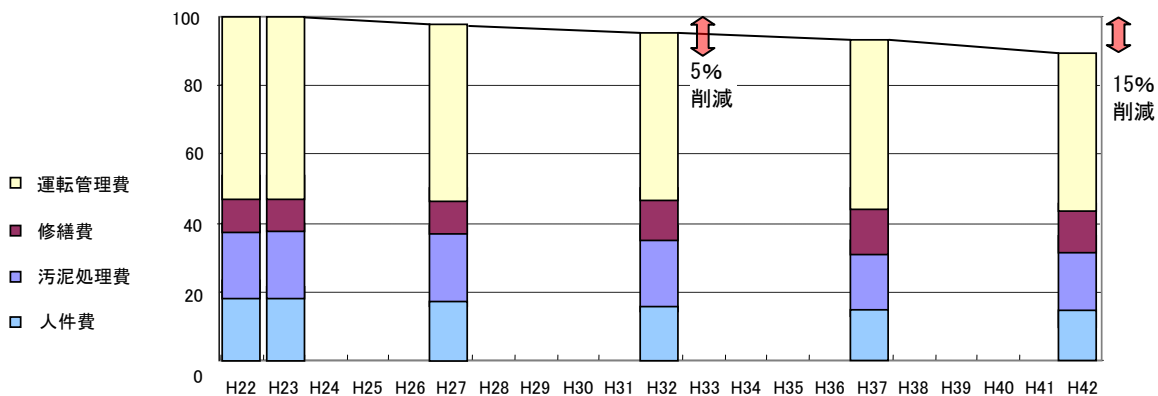
- 【短期】 広域的な維持管理について検討
- 【中期】 広域的な維持管理について検討
- 【長期】 広域的な維持管理について実施

経営基盤の向上対策

- ・現状の把握
- ・使用料の適正化への取組
- ・各戸調査をし加入促進を実施
- ・経営の明確化への取組



維持管理費予測



現状把握と検証

根羽村「水循環・資源循環のみち2010」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と検証を行いました。その結果を基に今回見直しを行いました。

指標	現状把握 (平成25年度末現在)		検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A:快適生活率(%)	89.2	88	A指標は、目標の89.2%に達していません。原因は人口の減少と考えられます。	A指標は、平成42年の目標94.5%を達成するように、事業を推進します。
①:個別処理区内の普及率(%)	91	90.1	①指標は、目標の91%に達していません。原因は人口の減少と考えられます。	①指標は、目標を達成するように事業を進めます。
B:環境改善指数	46	49	B指標は、目標どおり進んでいます。	B指標は、目標どおりに進めます。
②:環境改善共感度率(%)	90	89	②指標は、目標を達成していませんが、高い数値を示しています。	②指標は、目標を達成するように更に推進を図ります。
C:情報公開実施指数	64.4	25	C指標は、目標までに到達していません。情報公開に不十分なところが見受けられました。	C指標は、目標を達成するように情報公開を推進します。
③:環境学習率(%)	90	88	③指標は、目標どおり進んでいません。地域住民等への学習の場が不足しています。	③指標は、目標を達成するように各機関と連携を図ります。
D:汚水処理人口普及率(%)	99.4	94.9	D指標は、目標の99.4%に達していません。原因は人口の減少と考えられます。	D指標は、平成42年度に目標を達成するように、未普及地域の整備手法を見直します。
④:全村水洗化率(%)	88	88	④指標は、目標どおり進んでいます。	④指標は、当初目標どおりに進めます。
E:バイオマス利活用指数	50	50	E指標は、目標どおり進んでいます。	E指標は、当初目標どおりに進めます。
⑤:浄化槽法定検査受検率(%)	60	80	⑤指標は、目標どおり進んでいます。	⑤指標は、当初目標どおりに進めます。
F:経営健全度	10	10.8	F指標は、目標どおり進んでいます。	F指標は、当初目標どおりに進めます。
⑥:維持管理費回収率(%)	100	100	⑥指標は、目標どおり進んでいます。	⑥指標は、当初目標どおりに進めます。